

- 貸すこととした。但し管理の徹底と使用料 3000 円 / 回を求める。
- ② 中和田教会ホームページ紹介の件
- ◆ 敬老のお祝いパーティの機会に紹介することとなった。
6. マリア会:
- ◆ 連絡網一本化の提案 ⇒ ヨゼフ会とマリア会の連絡網に重複部分があるので、これをを一本化することに決定。マリア会連絡網を基本にして一本化していく。
7. 要理委員より
- ◆ 9/18 敬老のお祝い終了後お誕生日会(7~9月生まれ)
 - ◆ 11/23 ザビエル祭参加予定
 - ◆ 12/4 子どもの共同告解
 - ◆ 12/18 子どもクリスマス会
 - ◆ クリスマスマサの前後に聖劇をやることを計画中
8. その他
- ◆ 次期委員とグループ活動についての審議を、10月以降に実施。

マリア会だより

< 9月4日(日) 27名出席 >

1. マリア会関係
- ◆ 竹内洋子様ご入院の為お見舞いに行きカードをお届けしました。
 - ◆ A地区小山恭子様 転居 → C地区へ TEL 045-803-2500
 - ◆ 鈴木神父様との懇親会を9月中に行う予定⇒神父様ご都合とバザー準備等で予定が合わず延期致します。
 - ◆ 敬老会の準備をお手伝いします。当日のお手伝いをよろしくお祈りします。
 - ◆ 「マリア会の今後を考える」につき、小委員会にて話し合っただうかとの提案に対し、会長出席の下、各地区ごとに集まって十分に討議したいという意見にまとまりました。日時等詳細は集会所掲示板をご覧ください。
 - ◆ マリア会連絡網を教会として地区別に作って欲しい旨委員会に提案致します。

2. 行事より報告とお願い

- ◆ バザーのメニュー決定: ・カレー 150食 300円
・おでん 150食 250円 ・おはぎ 100食 200円
・ケーキ紅茶 100食 150円 ・コロケと煮物
- ◆ 手作り品の締め切りは10月2日の日曜日 提出はバザー委員かマリア会役員まで
- ◆ 値段付け 6日 am10時~午後迄 13日は pm1時~
- ◆ 委託品販売の希望者は申し出て下さい
- ◆ 手伝い表に記入: 買い物、前日当日の手伝い、ケーキ作り
- ◆ ケーキ作り 10月24日(月) 試し焼き 9時~1時
10月27日(木) 本焼き 1時~5時
- ◆ 紅茶、砂糖、調味料等のご寄付をお願いしたい
- ◆ バザーで使用する道具等の確認: 10/12、10時~

3. その他 --- コンサート、観劇のお誘い

- 9/29 パイプオルガン
- 10/8 「マリー・マグダレーン」ひとり芝居
- 10/9 グロリア合唱団特別演奏会

【次回例会は10月16日(日) 当番はB地区】

ヨゼフ会だより

< 9月4日(日) 16名出席 >

- ◆ バザー準備:
- ◆ 今年のヨゼフ会の出しものは、やりそば、やきとり、やきいか、飲み物。
- ◆ 各売り場責任者は、昨年度と同じ方々をお願いすることとするが、別途了解受付/確認する。

- ◆ 材料仕入れについても、今までやって頂いて来ている花坂さんをお願いする。
- ヨゼフ会会計中間報告(山田さん)
- 8月14日に行った「庭の手入れ」の反省:
 - ◆ 中途半端だった。庭木に関する知識が必要で、識者を入れた入念な準備が必要。
 - ◆ まだ高い木が残っている。高齢者だと危険なので、別途手立てが必要。
- 10月~12月の当番表の確認:
 - ◆ 典礼グループとの連絡強化必要との意見あり。
- 8月27日に開催した、鈴木神父様との「納涼の集い」に関する感想:
 - ◆ 今までとは違って酒を飲みながらの会話であり、神父様の気さくなご性格に接することも出来て非常に良かった。
 - ◆ とにかく面白かった。我々信徒間の思いのぶつかり合いもあって良かった。
 - ◆ このような機会は、我々信徒の日常に関する情報を神父様に入れる良い機会だと感じる。
 - ◆ 「神父-信徒」の関係を越えて、人間対人間としての話し合いが出来て良かった。
 - ◆ 日頃、神父様とは説教や告解を通しての対話が殆どである。信仰を持った人間が世俗に埋もれて生活しているなかで得た原体験が、このような場を通して皆で共有出来れば素晴らしいと感じる。
 - ◆ このような機会は、我々信徒の日常に関する情報を神父様に入れる良い機会だと感じる。
 - ◆ 概ね大好評でした。次のステップを皆さんと考えていきたいと思えます。
- 小谷さんより、「区民クリスマス」に関する要望あり。別途、委員会で審議願う。

お知らせ

- ① 10月は「ロザリオの月」
 - * 毎主日ミサの前、8時30分から、ロザリオの祈りがあります。
- ② 10月30日(日)はバザーです!
 - * みんなで積極的に参加し、盛り上げましょう。
 - * 前日(10/29)の準備のお手伝いも、協力して行ないましょう。
- ③ 第14回 湘南短期キリスト教セミナーのお知らせ
 - テーマ『小さな人々と共に生きる世界』
 - 各日 14時~16時、会場: 鍛冶ヶ谷教会
 - * 11/12(土) 「マザー・テレサに学ぶ」 千葉茂樹(映画監督)
 - * 11/19(土) 「みんな一緒に」 日浦美智江(社会福祉法人『訪問の家』理事長)
 - * 11/26(土) 「小さき者からの光」 佐藤仁彦(ラルシュ共同体『カナの家』代表)
- ④ 死者のためのミサ
 - 11月4日(金) 午前10時から
- ⑤ 七五三のお祝い
 - 11月13日(日) . . . 予定



広報 なかわだ

第316号

2005年 10月号

中和田カトリック教会
広報委員会発行
泉区中田北1丁目9-1
Tel. (045) 803-6141
<http://www.paw.hi-ho.ne.jp/nakawadacatholic/>
平成17年10月9日

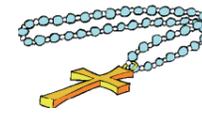
10月の予定

| | |
|-----------|--------|
| 委員会 | 10月9日 |
| ヨゼフ会、マリア会 | 10月16日 |
| バザー | 10月30日 |



ロザリオ月

パウロ 高野 哲夫



10月は、「ロザリオ月」です。さまざまな小教区で、ミサの前にロザリオの祈りを唱えたり、決まった時間にみんなが集まりロザリオの祈りを唱えたりと、ロザリオ月での過ごし方を考えているようです。中和田教会はいかがですか？

さて、ロザリオの祈りは、みなさんもご存知のように、珠を繰りながら「主の祈り」と「聖母マリアへの祈り(天使祝詞)」、「栄唱」を唱えて、主キリストと聖母マリアの生涯を黙想するお祈りです。「ロザリオ」という言葉は、バラの花冠を意味するラテン語(rosarium、ロザリウム)から由来しています。珠を繰りながら唱える祈りが、ちょうど「バラ」の花輪を編んで聖母マリアに捧げるイメージからなのでしょう。

ロザリオの祈りは、ドミニコ会の創立者ドミニコ(1170頃~1221)が異端(キリスト教の間違った教え)と戦った時、聖母からこの祈り(信心)の啓示を受けたのが始まりとされています。また、10月7日が「ロザリオの聖母」として教会がお祝いをするようになったのは、1571年、キリスト教を滅ぼそうとするトルコ帝国に対してキリスト教徒が勝利を収めた際、この勝利がロザリオの祈りを通して与えられた聖母の助けによると信じられ、当時の教皇ピオ5世が、この勝利の日を「ロザリオの聖母マリアの祝日」と定めたことによります。

その時々で、何が正義であり、何が平和であるかが問われますが、神の救いの業、そして正義と平和の実現のためにキリスト教徒がロザリオの祈りを捧げていた事は間違いありません。

長い歴史の中で、教会が聖母マリアに捧げる祈りとして、大切に、そして親しまれてきたロザリオの祈り。私達も現代社会の中で、混沌とした社会の中で、キリストの正義と平和の実現を願いながらロザリオを祈ると共に、私達も平和を実現するための働き手として歩んでまいりましょう。

ミサ当番表 (2005年10~11月)

| 月/日 | 第一朗読者 | 第二朗読者 | 共同祈願 | 奉納 | オルガン | 侍者 | 先唱者 | 準備係 |
|-------|-------|-------|-------|----------|------|-------------|-------|----------|
| 10/2 | 石井(大) | 石井(拓) | | | 美底 | 石原(未)・森脇(留) | | 井上・大原 |
| 10/9 | 伊丹 | 下村 | 伊丹 | 伊丹・位田 | 岩瀬 | 美底(紗)・石原(知) | 竹内 | 大宮・松尾(リ) |
| 10/16 | 井上 | 石井(悠) | 山本 | 井上・永田 | 森田 | 美底(夏)・石井(麻) | 清水 | 下村・松下 |
| 10/23 | 宮崎 | 北川 | 宮崎 | 宮崎・松尾(リ) | 岩瀬 | 石井(大)・石井(拓) | 小野寺 | 中谷・青柳 |
| 10/30 | 美底 | 青柳 | 石井(悠) | 美底・宮崎 | 森田 | 石崎・石井(つ) | 東原 | 井上・大原 |
| 11/6 | | | | | 美底 | | | 大宮・松尾(リ) |
| 11/13 | 小野 | 石井(洋) | 小野 | 小野・清水 | 岩瀬 | | 森脇(留) | 下村・松下 |
| 11/20 | 森脇(留) | 岩崎 | 阿部(映) | 森脇(留)・七浦 | 森田 | | 大宮 | 中谷・青柳 |
| 11/27 | 上野 | 花坂 | 上野 | 上野・町田 | 岩瀬 | | 萩原 | 井上・大原 |



語るべく

2005.9.15

小谷 徳爾

平成 15 年 4 月 6 日なかわだ広報第 289 号に、「中和田教会のみなさまへ」ご執筆、カンペンハウド神父様が、「ご健康の優れなかった山崎神父様を大事にして、その御指導を仰ぎながら、教会のいろいろな面で力を合わせて、共同体の責任を担ってくださったことを拝見して、感心し、感謝いたします。これから(4月から)、新しい主任司祭ジャック・ダニエル神父と若い助祭高野哲夫様とともに新しいスタートをする恵みが与えられます。」と。以来早くも2年余ヶ月平成 17 年 3 月 27 日教区の人事で、グルニエ神父様は二俣川教会へ、高野助祭様は教区本部へと。

「グルニエ神父様の叙階 30 周年のお祝い」と、また平成 15 年 6 月 梅村昌弘司教様からカトリック横浜教区報で、「4 月 16 日聖水曜日山手教会での聖香油ごミサ中、パウロ高野哲夫神学生の助祭叙階式が行われた」といううれしいことが中和田教会所属の信徒の方々、関係者はお感じと思えました。

反面、中和田小教区はどうなるのだろう!! と心配しましたが、教区司教様のご配慮賜り、平成 17 年 4 月から、「ありがたき幸せ」にも、中和田教会主任司祭兼務として藤沢教会ご所属の鈴木勤介神父様が、初めての御挨拶で「こんなに緑や森に囲まれた」と。

ではこのお言葉で中和田教会の環境を話します。

○土地について

昭和 48 年 5 月 22 日 売買予約登記

昭和 48 年 8 月 10 日、昭和 48 年 11 月 28 日、昭和 51 年 2 月 2 日・・・それぞれ一筆一筆所有権の移転、宗教法人カトリック横浜教区に。
畑 9 アール、畑 245 m²、山林 4.36 m²、総じて土地(敷地)約 1145 m²確保されました。

○建物について

昭和 48 年 8 月 3 日

大洋建設 KK と契約
昭和 48 年 8 月 9 日 着工式
昭和 48 年 8 月 15 日 着工
昭和 49 年 1 月 31 日 完成引渡受 そして
昭和 49 年 2 月 24 日 献堂式 が行われたのです。



風蝕のように建物もあちこち傷みが、平成 17 年 1 月 30 日中和田カトリック信徒総会では、ご担当委員から、建物修繕項目と修繕費総額 435 万円、教区からの借入をしないでと。

同じく行事ご担当委員から、10 月 30 日最終日曜日 バザーを開く、教会建物堅持のため。

ちなみに中和田教会の第一回バザーは、昭和 49 年 6 月 30 日、そして 7 月 5 日反省会を開いておられます。

この 9 月 18 日仲秋の名月、9 時ごミサ後、サロンにてお茶の回、敬老のお祝いをして頂きました。当教会第一回敬老会は昭和 49 年 10 月 4 日少人数だったそうです。だが今は!!

「せめて加齢誰もが年金が少ないの何のと言わず、聖書にあるあの方のよう心がけたい」

全員異議無しで行きましょう 教会も丈夫でと。



2回目の召命練成会

石井 拓真

ぼくは、今年も召命練成会に参加しました。

いちばん印象に残ったのは、聖書の中の話に劇にして演じるスタンツです。ぼくたちがやろうと決めたのが、ガルカの「悪魔にとりつかれた子」という話です。それは、悪魔にとりつかれてアワをふかせられている子どもから、神様が悪魔を追い払う話です。

それを読んで、神様はやっぱりすごいなと思いました。ぼくたちはルカの福音書だったけれど、他の福音書でも「悪魔にとりつかれた子」があってびっくりしました。聖書の中にあって同じ話がいくつもあるのかなと思いました。

スタンツの発表も終わり、とても楽しく、また上手に出来ました。ぼくはナレーターだったので緊張したけれども、やれてよかったです。

いろんなことを知ることができたし楽しかったので、参加してよかったです。

練成会で感じたこと

石井 大河

今年また練成会に参加しました。いろいろなことをして、友達ができ、友情が深まったと思います。

聖書の「イエスを殺す計画」のところでスタンツでやりました。ぼくがイエス様の役をしたとき、「イエス様はとてもすごい人なんだ」と感じました。

自分たちでお皿を洗ってみて、おかあさんが大変だということを感じました。だから、これから少しずつ手伝っていきたいです。

練成会に参加して、いろいろなことが分かりました。もしできたら、また練成会に参加したいと思っています。



時には教会の外へ出てみませんか？ 思いがけない発見があります。

< 第 38 回横浜教区一粒会大会 >

一粒会委員 竹内 廣治



9 月 19 日、敬老の日、第 38 回横浜教区一粒会大会が開かれる日です。会場は横浜市あざみ野にあるカリタス女子短期大学。かつて第 35 回の大会もここで行なわれました。あれから 3 年、月日の過ぎ去る速さにたじたとしながらも、少しは街の様子に移ろいを感じられるかと思いながら会場へ急ぎました。ちょっとした旅人気分でしたが、それにしても、今日は暑い！ 残暑真っ只中。この苦行もこころの潤いを頂く代償として捧げよう、としても今日は暑いのです。地下鉄の冷房を懐かしみつつ校門をくぐります。大勢のお仲間がお集まりです。懐かしい顔もチラホラ見えて、「お久しぶり！お元気？」。開会前の弾んだ声に、今日の期待が伺えます。

会場には残念ながら冷房がありませんでした。団扇、扇子、ハンカチ、ついにはミサレットまで動員されてパタパタパタパタ。司会者がしきりに詫げるのも気の毒で、一人ひとりが耐え忍ぶことも大事なことと思いつつも、やっぱり暑いのでありました。

今年の基調講演は、『妖怪の棲む教会』などユニークな著書で知られる大阪教区司祭・中川明神父様が、「なぜ召命が増えないのか？」と題し、グラフを用いてお話くださいました。召命数減少については、日本の現状、世界の現状をそれぞれ分析され、「神学生が減少している国々が、いわゆる富める国々であることを思うとき、日本の召命の減少には、世界共通の宗教の世俗化や近代の行き詰りが背景にあると思われる」と論破されました。

続けて、近代の社会、「愛」の体験のなくなった社会について解説が続くのですが、私にとっては、少々難解なお話となりました。この講演の内容は、大会後の「一粒会だより」に掲載されると思いますので、その時じっくりとお読みください。皆様の期待に充分応えられる講演内容だと思います。

昼食休憩のあと、「司祭召命の環境づくりについて」をテーマに、司祭と参加者の自由な意見交換の時間がもたれました。はじめは戸惑いもあったようでしたが、意外とユーモアにあふれた司会者の捌き方よろしきを得て、活発な意見が飛び交いましたが、どうしても腹八分の論議で終始するのもやむを得ぬことで、良識の限界とでもいうべきことでしょう。

フィナーレは、梅村司教様はじめ来会の神父様方の共同ミサ。約 500 人が唱和しての熱気溢れる元気が会場を圧して大会は終了。気がついてみると、先ほどまでのあの暑さはどこへ行ったのでしょうか。

陽はやや西に傾きました。駅へと続く洒落た商店街も、精気を取り戻したように人々の出入りが盛んです。軽やかに道を急ぐ人あり、大会の余韻を味わうようにゆっくり歩くグループあり……。では、さようなら。次ぎにまたお会いいたしましょう。



委員会だより

< 9 月 11 日(日) 11 名出席 >

1. 行事計画確認

① 敬老の祝い

- ◆ 9/18 主日ミサとその後のサロンでお祝いと歓談の会
- ◆ 新規お祝い対象の方：小野寺功さん、山中嘉子さん、松尾健次さん、竹内廣治さん
- ◆ 上記今年満 75 歳になられた方々に記念品をお贈りします。からミサ曲は 1 番を採用。

② ご近所のカーパランド長老会教会記念式典(泉伝道所が教会に格上げになる記念礼拝)

- ◆ 9 月 25 日(日)14:30 ~ 18:30
- ◆ 会場として聖堂と新集会室をお貸しすることとした。

③ 10 月 30 日・バザー

- ◆ ポスター、立て看板、抽選券、食券などの準備、手配が済みました。
- ◆ 展示形態は、フリーマーケット方式となります。
- ◆ 前日(10/29)の準備お手伝いを信徒各位にお願いする

2. 典礼委員より

- ◆ オルガンの位置の移動についての打診があった件について。⇒ 状況勘案の結果、現状のままとする。

3. 財務委員より

- ◆ 保険会社から保険料値上げの要請が来ている件について。⇒ 現在の保険料だと、保険金額が下げられてしまうので、値上げ要請に応じることとする。
- ◆ 銀行入金の仕事、今後山田さんをお願いした。

4. 布教委員より

- ◆ 横浜教区第 38 回一粒会大会開催について
- ◆ 第 5 地区福音宣教委員会報告
- ◆ 第 14 回湘南短期キリスト教セミナーについて
テーマ「小さな人々と共に生きる世界」
・・・ 各日 14 時 ~ 16 時、会場：鍛冶ヶ谷教会
11/12(土)「マザー・テレサに学ぶ」千葉茂樹(映画監督)
11/19(土)「みんな一緒に」日浦美智江(社会福祉法人『訪問の家』理事長)
11/26(土)「小さき者からの光」佐藤仁彦(ラルシュ共同体『カナの家』代表)

5. ヨゼフ会:

① 泉区民クリスマス関連

- ◆ 標記聖歌隊練習(10 ~ 12 月 隔週日曜午後・全 6 回)に、中和田教会をオルガン共々借用したい旨要請があり、